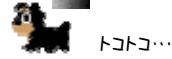


# ご 近 所 探 検 隊



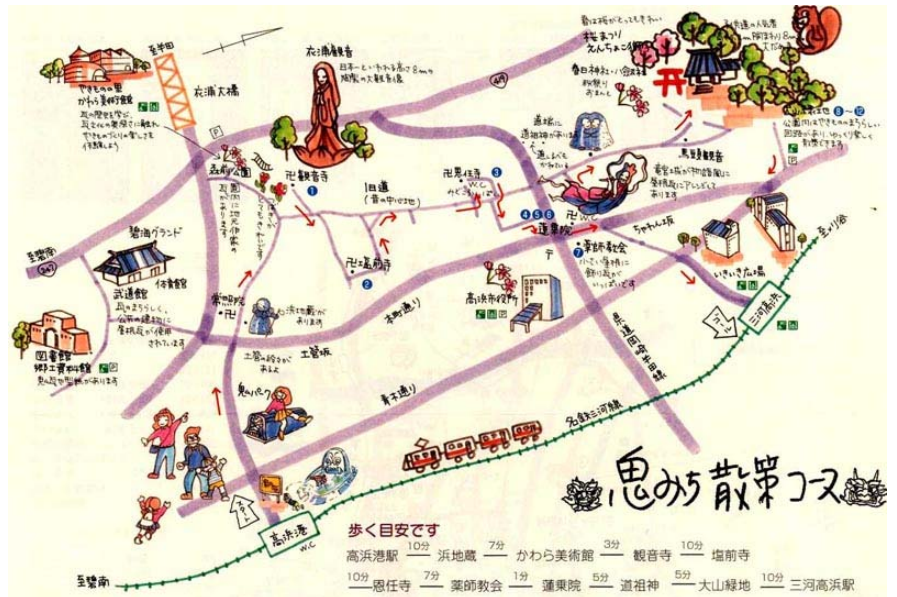
二度目のボツ企画になるかと危ぶまれていたら、まっさきに由佳ちゃんが頑張ってくれました！

## <鬼map>



私が住む高浜市は、昔から瓦などのやきものづくりが盛んなため、多彩な鬼がわらや飾りがわらが神社やお寺などの屋根を飾っています。

そこで、地場産業であるやきものをもっとPRするため、高浜港駅からかわら美術館、大山緑地を経て、三河高浜駅までを散策コースとして整備したのが「鬼のみち散策コース」（通称、鬼みち）です。



高浜港駅を出ると、まっ先に目に入るのが、写真の巨大鬼がわらです。

市内の鬼師の方から寄贈されたもので、タテ4.5メートル、ヨコ4.2メートルもあります。（写真1）

高浜港駅からまっすぐ下った坂にある「鬼パーク」周辺にある10面のユーモラスな表情をした鬼面の腰掛けです。（写真2）

かわら美術館は、この地の産業である「かわら」をメインテーマとし、瓦の美術的な鑑賞や瓦に関連した幅広い文化を紹介、展示した美術館です。





写真3

写真は全景と入り口に鎮座する金の鯨ならぬ瓦の鯨です。(写真3、4)



写真4



写真5

森前公園の奥にある階段を登ると、「森前の観音さん」「衣浦観音」と親しまれている巨大な観音像の足元にたどり着きます。

境内にある陶管製の観音像は高さ8mあり、陶製の観音像としては日本一といわれています。(写真5)



写真6

県神社のあった丘を右手に見ながら急な坂を登り切ると、塩前寺があります。

この屋根の留ぶたにいる2人の天狗が参詣者を出迎えてくれます。

そしてなんとここは私の自宅のお寺なのです！

写真(6、7)



写真7



写真8

観音寺から塩前寺までの道のりには、市民の皆さんが製作した瓦のオブジェが展示してあります。屋根を飾る瓦とはまたひと味ちがう、ユニークな作品です。(写真8)

恩任寺は約500年ほど前に建てられたといわれる本堂がある、高浜で一番長い歴史と趣を持つお寺です。まず、目に飛び込んでくるのは、大きく立派な山門と、棟の端から睨みをきかせた鬼瓦です。鬼瓦とは、棟の切り口を隠すためと、装飾を目的としたかわらで、鬼は、仏教でいう、仏を守る守護神「善鬼神」の役割をしています。(写真9)



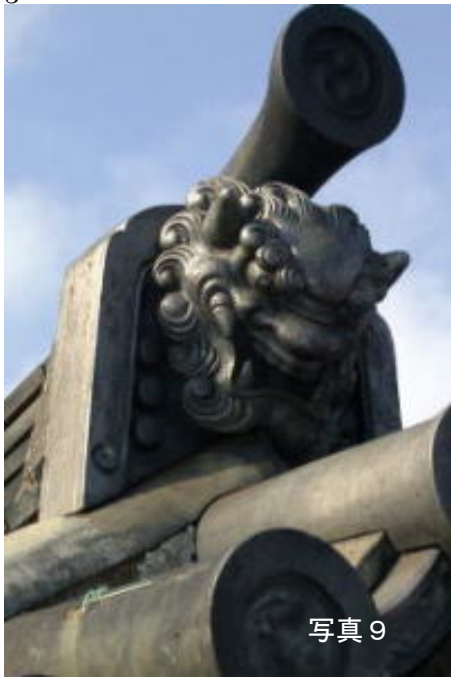


写真9

蓮乗院は明治28年(1985)、本堂を改築した際に飾り瓦として"おとぎばなし"にまつわる天女や仙人、亀や竜宮城などを屋根に上げ、楽しい雰囲気を出しているお寺です。写真は天女。(写真10)



写真10

高浜にはこの他にたくさんの瓦が街のあちこちで見られます。瓦職人は「鬼師」と呼ばれ、最近では現代的な作品もありますが王道は険しい顔をした鬼瓦です。歩いていて、車を運転していて、ちゃりんこに乗っていてこのでっかい鬼瓦に遭遇すると、ドキッとしてしまうのは私だけでしょうか？



ご近所探検隊、もといトマソン隊もどきあたりを探しましたが、なかなかめぼしいものが見つかりません。海老名では既に20年強の歳月を過ごしていますが、あまり遠出をしたことがなく、何も知らないということに愕然としています。

越してきたとき、すでに「海老名いろはかるた」と言うのがあって、名所旧跡を歌いこんだものができていました。中でも7不思議が厳選されていて、「なんじゃもんじゃ」とか「大谷観音のかやの木」とか「大けやき」とかいうのがあります。民俗学の研究課題みたいですが、土地の古者が市役所発行の新聞に掲載しているのを見たことがあります。

青年団や町内会主催の名所巡りウォーキングも毎年開催されているようです。対象は主に小学生で、夕方から2時間程度の親子ラリーが昨秋行われたのを覚えています。

今回、この探訪は間に合わなかったので、自宅から海老名駅までの道を辿って、みることにします。この道は「横須賀水道道」といわれています。相模川から取水された水道管が埋設してあるので重量車両は進入禁止です。

延々と横須賀市に繋がっているわけですね。東名高速を横切る吉久保橋、海老名



サービスエリアから指呼のところ、を基点に海老名駅方面に歩みを進みます。

左手が大谷中への道となる十字路の手前にキャベツ畑があり、そこから富士山が眺望できます。さらに道を進むと富士の頭が見え隠れします。人家、雑木林、小高い丘が眺望を拒む元凶です。こちらに移り住んだ頃はまだ人家が少なく富士は自宅の二階から一望できましたし、例年8月初めの厚木の花火大会も家から見えました。



【富士見の場所（左からキャベツ畑、切り通しを抜けて、アツギナイロンあたり）】

さて、道なりに行くと、切り通しに出て、富士はすっぱり見えなくなりますが、そこを抜けるとなだらかな坂道を下り富士が再び顔を現します。そこからは左手に広畑が開け、右手にアツギナイロンの工場が建っています。そこを過ぎてミズホ団地で右に折れれば、左手に消防署、右手に警察署、再び左手に市役所と、「官庁街」といえば聞こえはよいが、畑のど真ん中に建っています。市役所の前畑は生産調整区域で春はれんげの花が色とりどりに咲いていて、五位さぎなどが田んぼの中を歩いている風景を目にします。アマチュア写真家が鳥の数よりも多く集まるのもこの時期です。でも今は冬。何もありません！

「官庁街」を抜けると右手に海老名の新しい象徴であるプライムタワーが見え、そこからは駅まで一直線で5分ほどの距離です。今日はその前に腹ごしらえをしましょう。



### 【プライムタワー】

厚木街道の手前にサティとかダイエーとかダイクマとかが並びますが、そこと市役所の間プロムナードがあり、その終着点近くにカプリチョーザというイタリア料理店があります。自分はそこの常連で、昼食バイキング 950円というのがB級マニアにはうれしい。





【これが950円のセット】

## 【カプリチオーザのお店】

写真のように、メインのパスタかピZZAを選べば、サラダとドリンクとフォカッチャがバイキング形式でお代わり自由なのです。メインが来るのに時間が掛かるので、サラダとフォカッチャで腹一杯ということも度々です。

自分は月に一度病院へ検診に行っていますが、検診の帰りにカプリチオーザに寄るとというのが最近の習慣になっています。海老名にはジャパンメディカルアライアンスという特殊医療法人の

海老名総合病院とその手前の東日本循環器病院という大層な名前の病院があり、自分は手前の方に通っています。掛かり付けのお医者は大森安恵先生という日本糖尿病・妊娠学会の理事長をされている、糖尿病内科では高名な方らしいです。

## 【海老名病院（奥）と東日本循環器病院（手前）】



【ビナウォークと五重塔のミニチュア】

一寸寄り道してしまいました。駅の周りはビナウォークの商店街になりますが、前にご報告しましたので、割愛します。ようやく駅に着きました。ご苦労様。

最後に、海老名市にあるマンホールの蓋をご紹介してトマソン隊もどきとさせていただきます。



【ご当地マンホール】



左は神奈川県共通らしいですが、右は海老名オリジナルのようです。五重塔などがあしらっています。





突然ですが。。



なんちゃ、こいや??



今はなき、『投稿！特ホウ王国』だったらこんなタイトルになりましょうか。  
『え〜っ!? 巨大化した傘がさかさまに生えている街!』

うちの周りには、巨大化した傘の柄が逆さまになって、によきによきと生えているんです。  
おうちに合わせたように茶色く錆びてしまっているのや、のっぽのや、ちっこいのや  
様々な形で生えています。

これはけてワソコがちいちいをするための物じゃありません。

じゃあなにかと言うと…



通称エア抜きっていうものです。

じゃあエア抜きってなにかと言うと…  
本来下水道内の水は自然流下で流れていくが、この付近は京浜第二国道（R1）で遮断されてしまうため『伏せ越し』という施工技術で下水管を通してている。そのため下水とともに流れる空気が溜まりやすくなってしまふ。そこでこのエア抜きによって空気を地表へ放出する。

という丸写しの説明でおわかりになったでしょうか。

もし下水道から空気を放つことができなかつたらどうなるか…

「圧縮した空気によって近くのマンホールが吹っ飛ばす」らしいです。怖いですねえ。

ちなみに『伏せ越し』とは、例えば右の写真のように、鉄道の線路と水路が交差している所などで使う技術のようです。これ以上の詳しいことは、きっとうさおさんが詳しいと思われ。



ということで、あの物体はただの傘の柄じゃなく、

ましてやワンコのちいちい場でもなく、ちゃんとした立派な役目を持っているんです。

うちの近所だけでも4箇所にあるんだから、二国の周辺には沢山の傘の柄が立っているんでしょうね。二国沿いに住んでいる人は、探してみてね。傘の柄型だけじゃないから見逃さないでね！



TICAさんの探し出した不二家のパラソルチョコの柄は、家の近くの公園にもありました。暗渠を跨いで横浜線が通っているのですが、その両側の駐車場に、よきよき。鶴見にはレンガ積みの伏し越しがあるのでしょか？ドキドキ。







生麦の漁師町には、古を偲ばせる仕舞屋が多くあり、その戸袋の壁は昔なら、長八門下による漆喰鏝絵の細工がなされていたと言います。戦後には物資と職人の欠乏から、トタン細工に変わりましたが、ふ、ふ、それが今回のご近所探検隊だあ。

うさおです。で、これが本当のトマソンとです。この時計、どうやって使っているんでしょう。何の時間を見ているのでしょうか。これでは時計がじゃまで、扉が開かんとです。

